

南小だより

佐世保市立吉井南小学校
No.21 R. 4. 1 0. 2 1 (金)
文責：山口伸一郎

6年生が修学旅行に行ってきました！

少々遅くなりましたが、ご報告いたします。6日(木)、7日(金)の2日間、6年生が長崎市への修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響も心配しておりましたが、県内も少し落ち着きを取り戻し、当日は無事全員参加することができました。天候は2日目の朝が少し雨模様ではありましたが、徐々に回復し、体調不良を訴える児童もなく、ほぼ予定通り活動することができました。また、バスの中及び各訪問場所、ホテルにおきましても、感染防止対策をしっかりと行っていただき、私たち自身も意識を高くして十分に注意を払いながら、学習に取り組むことができました。

一日目は、学校から高速道路を利用して移動し、まず原爆資料館を見学しました。その後、爆心地公園及び平和公園を訪れ、平和学習でも学んだ原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さ、そして平和の大切さについてあらためて考え、実感することができました。爆心地公園では、全校児童で平和を願って作成した折り鶴を献鶴し、全校で作成した『吉井南小学校 平和宣言』を斉唱して、みんなで協力してこれから平和な世界を築いていくことを誓いました。

昼食を挟んで、午後からは如己堂(車窓見学)、浦上天主堂、山王神社を訪れ、長崎歴史文化博物館を見学しました。歴史文化博物館では、事前学習を思い出しながら多くの展示品や復元施設等について見学し、社会科で学ぶ日本の歴史に大いに役立つ貴重な体験を行い、学びを深めることができました。そして、最後に、今回初めて稲佐山を訪れました。中腹からはスロープカーに乗車し、山頂展望台からは鶴の港と呼ばれる「長崎港」の景色を楽しみました。空気も澄んでいて、遠くまで見渡すことができ、子どもたちも坂の多い長崎の地形を改めて認識することができたようです。

宿泊は、長崎駅近くのホテルでした。おいしい夕食をいただき、皆で過ごした部屋での楽しいひと時…。声の大きさや部屋の行き来等、制限しなければならないこともありました。それぞれにしっかりとときまりを守り、修学旅行ならではのすばらしい思い出ができたようでした。長い一日でしたが、とても多くのことを学んだ、充実した一日でした。二日目の様子についても、引き続きお知らせしたいと思います。



＜「長崎歴史文化博物館」見学の様子＞



「ふるさと吉井」は、すばらしい学習材の宝庫です。

先日、吉井地区コミュニティセンターで開催された『樋口橋・前岳橋・春明橋 架橋100周年記念』の行事に参加する機会がありました。当日は、昨年度に取り組んだ児童・生徒の「絵画・作文コンクール」の受賞者紹介、及び「記念講演」、「アトラクション」、「年表や写真の展示」等、様々な催しが行われ、お祝いの雰囲気に溢れていました。

3つの石橋が架橋100周年を迎えたことと併せて、樋口橋に関しては「長崎県有形文化財」に指定されたということで、今回二重の喜びとなっているということでした。

記念講演を拝聴しながら、これらの石橋が重要なインフラとして、吉井で生活してきた先人の方々の生活にとっても密着したものであり、生活をしっかりと支えてきたものであることを改めて認識することができました。

「ふるさと吉井」には、豊かな自然や農産物、石橋群や福井洞穴、直谷城等の史跡等々、すばらしい学習材がたくさんあります。今後も、地域の「ひと・こと・もの」を大切にして、「ふるさと吉井」を誇りに思う子どもたちを育てていけるように努力していきたいと思います。

